社団 日本経営士会 千葉支部 会報

# EMC千葉

Ever
Management
Consultant
Chiba

発行 (社)日本経営士会 千葉支部

http://keieishi-chiba.org/

支部長 西村 豊 〒275-0022 習志野市香澄5丁目 1-17

事務局 副支部長 鈴木伸一 編集者 中野周行

平成26年3月31日発行

第96号

いよいよ消費税率が8%にアップいたします。来年にはさらに2%上がり10%の大台に乗ります。はたして 日本経済の行方はどうなるのでしょうか。巷ではアベノミクスにじれったさを抱く外国人投資家の日本株離 れが加速しており、2014年に入り日本の株価が下落基調にあると噂されています。2%のインフレターゲット は実現するのか。はたまた、デフレに逆戻りするのか。さらに、混迷する世界情勢はどのようになるのか? 我々は、あらゆる手段を駆使し情報を得、近未来の姿を予想していく必要があるのではないでしょうか。

# 千葉支部 第59回定時報告会開催のお知らせ

千葉支部定時報告会を下記の要領で執り行います。会員諸氏にはぜひご出席願います。

日 時: 平成26年5月17日(土)

報告会 15:00~16:30 懇親会 17:00~19:00

場 所: 船橋商工会議所 〒273-8511 船橋市本町1-10-10

TEL 047-432-0211

■ JR 船橋駅南口より徒歩5分

(\*詳細は後日メール等にてご連絡申し上げます。)





## 会議•研究会開催報告

## ■ 幹事会

## 第8回 幹事会

平成 2 5 年 1 1 月 3 0 日(土) 13:30~15:00 場 所:船橋中央公民館

参加者 西村 豊、林 久雄、山田 一、鈴木伸一、山下恭司、大久保 篤、金子昌夫 中野周行、大塚亜喜雄、鶴岡義明

議題

- (1). 支部長会議のご報告
- (2). 船橋商工会議所消費税転嫁対策個別訪問の状況
- (3). 本年度最終四半期の予定
- (4). 次年度の事業構想検討

## 第9回 幹事会

平成25年12月15日(土) 13:30~15:00 場 所:船橋中央公民館 参加者 西村 豊、林 久雄、山田 一、鈴木伸一、山下恭司、大久保 篤、鈴木弘道 金子昌夫、中野周行、榎田國男、大塚亜喜雄、鶴岡義明

議題

- (1). 新年度の計画について
- (2). 役員改選について

### 第10回 幹事会

平成26年01月17日(土) 13:30~15:00 場 所:船橋中央公民館 参加者 西村 豊、林 久雄、山田 一、鈴木伸一、山下恭司、大久保 篤、鶴岡義明 議 題

- (1). 決算準備について
- (2). 役員改選について
- (3). 新年度の計画について

#### 第11回 幹事会

平成26年02月22日(土) 13:30~15:00 場 所:船橋中央公民館 参加者 西村 豊、林 久雄、山田 一、鈴木伸一、山下恭司、中嶋清介、大久保 篤 金子昌夫、中野周行、大塚亜喜雄

議題

- (1). 決算準備について
- (2). 役員改選について
- (3). 新年度の計画について

## ■ コンサルティング研究会

## 第8回、第9回コンサルティング研究会実施報告

平成25年度第8回、9回コンサルティング研究会議事録

報告者:日本経営士会千葉支部 幹事 大久保 篤

#### 平成25年度第8回コンサルティング研究会

開催日時: 平成25年10月26日(日)15:30~18:00

開催場所: 船橋市勤労市民センター 1F 喫茶室

参 加 者: 児玉充晴、若月英司、岩野邦久、林堯夫、稲村和彦、大久保 篤

#### 議題及び内容:

自分史・社史作成ビジネスの検討。

大久保会員作成の自分史・社史作成ビジネスモデル及び児玉会員作成の漫画版 立身出世伝ビジネスに基づき検討し、今後煮詰めることとした。

① 概要

自分のことを本にしたい、でも自分ひとりでは書けない人のための自分史、経営者・実業家の半生をつづる創業者伝をビジネスとして取り込む。

② 受注方法

ロータリークラブやライオンズクラブ等でパンフレットを配布して受注する。

③ プロセス

シナリオライター、漫画家を登録したサイトを立ち上げ、標準の制作プロセスと 見積もりを提示する。

④ 競合先

(一社) 自分史活用推進協議会

#### 平成25年度第9回コンサルティング研究会

開催日時: 平成25年11月23日(日)15:30~18:00

開催場所: 千葉市生涯学習センター 地階 1 F AV 調整室

参 加 者: 岩野邦久、若月英司、林堯夫、児玉充晴、大久保 篤

#### 議題及び内容:

市川商工会議所向けセミナー提案書の検討

① タイトル

「中小メーカーの物づくり」とし、中小メーカー向けトヨタ生産方式の導入を 提言する。

- ② モノの流れを改革することで業績を飛躍的に向上させるトヨタ方式をわかりやすく紹介するものとする。生産性30%以上の向上とリードタイム半減を同時達成する。
- ③ 議論となった付加価値生産性の算出式は近江先生に別途問い合わせる。
- ④ 12月9日に大久保会員、若月氏が市川商工会議所を訪問して提案することにした。

## 第10回、第11回コンサルティング研究会実施報告

平成25年度第10回、平成26年度第11回コンサルティング研究会議事録報告者:日本経営士会千葉支部 幹事 大久保 篤

#### 平成25年度第10回コンサルティング研究会

開催日時: 平成25年12月22日(日)15:30~18:00 開催場所: 千葉市生涯学習センター 3F 小会議室

参 加 者: 近江堅一、河井成夫、若月英司、鈴木伸一、鈴木辰星、大久保 篤

#### 議題及び内容:

平成25年における活動と成果について

- ① 大久保会員より、コンサル研ホームページ作成し NPO ちば経営応援隊と連携したとの報告あり。
- ② ベンチャー育成・ベンチャー創出勉強会の開催(ニーズとシーズのマッチング)
- ③ 風力発電ビジネス、エステ・スポーツクラブ向け3次元計測サービス、自分史・ 社史の作成。ビジネス、オフィスワークの支援ビジネス、算命学の応用ビジネス のコンサル研の活動を説明した。
- ④ 各出席者より年間活動と成果を発表して討議した。近江会員より新たな出版書籍の概要について説明があった。

#### 平成25年度第11回コンサルティング研究会

開催日時: 平成26年 2月11日(火) 15:30~18:00 開催場所: 千葉市生涯学習センター 3F 小会議室

参 加 者: 稲村和彦、岩野邦久、若月英司、児玉充晴、大久保 篤

#### 議題及び内容:

社内監査業務の推進について

- ① 稲村会員より勤務先の安田倉庫(株)監査室の業務内容について概要説明があり 企業の内部統制と社内監査のあり方について討議した。
- ② 商工会議所向けセミナー開催について市川、千葉、松戸の各商工会議所向けセミナーの内容は中小メーカーのモノづくりにすることした。
- ③ 26年度開催に向けて提案活動を強化する。テーマは奇跡を生む中小メーカーの 物づくりー中小メーカー向けトヨタ生産方式―とした。

## 次回のコンサルティング研究会スケジュール

平成26年度第12回コンサルティング研究会

開催日時 : 平成26年3月23日(日)15:30~18:00

開催場所 : 千葉市生涯学習センター 地下1F アナウンスブース

#### 議題及び内容

- ① MPP に替わるケースメソッドの検討
- ② 千葉、市川、松戸商工会議所向けセミナーの推進状況
- ③ 来年度コンサル研の実施テーマ検討

## ■ 月例研修会

## 次回の月例研修会スケジュール

開催日時:平成25年4月26日(土) 15:00~17:00

開催場所:船橋市中央公民館 テーマ:『環境経営研究会報告』

## 2013年11月 月例研修会

報告者:日本経営十会千葉支部 副支部長 山田 一

開催日時:平成24年11月24日(土) 15:00~17:30

開催場所:船橋市中央公民館

テーマ:『価値を高める品質活動の進め方』

講 師:金子昌夫 会員

参加者:西村 豊、鈴木 伸一、鶴岡 義明、鈴木 辰星、中野 周行、

山下 恭司林 久雄、大久保 篤、大塚 亜喜雄、山田 一

(講師含む 11名)

円安下で業績回復を見る一方、設備投資や生産方法の変更やコストダウンしたにも拘らず業績が低迷している工場もある。顧客からは製品の外観や機能的な品質だけではなく、利便性や感性的な品質も要求される。工場にとって、「顧客価値を高める品質活動」が重要となり、顧客価値を高めるためには、自社固有の強みを組織的に直結し、顧客が満足する価値を提供する仕組み、メカニズムの構築が大事となってくる。

金子会員は、ご自身の勤務している企業で品質管理を長年経験され、培われたノウハウと理論を結び付けた具体的な講演をして頂くことが出来ました。講演の概要を挙げてみますと、次のようなものとなります。

- 1. 品質管理に対する思い込み、勘違い。経営者は、当社は大丈夫と思ってはいないか。 本当は勘違いをされている。
- 2. 品質を上げるとコストアップになるという誤解⇒品質の向上は、ばらつきを少なくしコスト の低下になる。
- 3. 3 C症状(自己満足=COMPLACENCY、保守主義=CONSERVATISM、思い上がり=CONCEIT)に陥る
- 4. ⇒業績の良い企業は、組織が外部の変化に鈍感になっている。
- 5. 割れ窓理論⇒「建物の窓が壊れているのを放置すると、誰も注意を払っていないという象徴となり、やがて他の窓も全て壊される」という考え方。ビジネス界で割れ窓理論を適用して成功を収めているのは、東京ディズニーランドと米ノードストロームで、些細な傷をおろそかにしないことを徹底している。
- 6. 気づき⇒品質を上げていくためには、この「気づき」が大切であり、「思い込み」や「先入 観」、「考え不足」が「気づき」の妨げとなっている。
- 7. 自社の立ち位置を知る⇒自社がどのレベルにあるかを知る方法として利用されるものに、日 科技連の「企業の経営品質調査」、日本生産性本部の「日本経営品質賞」ISO9001 品質マネジ メントシステム等が挙げられる。
- 8. 現場の見える化→問題解決の第一歩は問題発見であり、「見える化」が入口であって、「見える化」の狙いは「問題の把握と解決」にある。
- 9. 儲かる生産工場を目指すには、不良対策がポイント⇒「不良を入れない」、「つくらない」、 「出さない」
- 10. 顧客価値の向上⇒製品競争力を高めるには、製品・サービスによる、顧客価値の向上が重要。 そのための組織づくりの大切さ。
- まとめ ・製品の外観や寸法精度が「品質」ではなく、顧客へ満足する製品を提供するのが「品質」 ・顧客(市場)の要求を製品化する「品質」にすることが重要

久々に、生産に関する講義を聴く機会となりました。「品質」が作る者からと顧客の側からの二面があり、お互いがマッチしたところに、本当の品質の良い製品に繋がっていくのであろうと考えさせられました。

以 上





## 2013年11月 月例研修会

報告者:日本経営士会千葉支部 副支部長 山田 一

開催日時:平成25年12月24日(土) 15:00~16:30

開催場所:船橋市中央公民館

テーマ:『千葉工業大学 遠山ゼミ研究成果の発表』

講師:千葉工業大学(学生) 鈴木 辰星、平口 浩太郎、田村 心

参加者:西村 豊、鈴木 伸一、梶原 昌巳、榎田 國男、原 弘行、鶴岡 義明

大塚 亜喜雄、山下 恭司、金子 昌夫、鈴木 弘道、大久保 篤

林 久雄、鹿山 幹治 (千葉県経営品質協議会)

(講師含む 17名)

今年度、千葉支部では、地域に貢献するを軸足にして月例研修を試みてまいりました。 7 月にはいすみ鉄道応援団掛須団長による、いすみ鉄道との町おこし活動の講演をいただきました。今回は、鈴木副支部長の薦めから、千葉工業大学社会システム科学部 遠山正朗教授のご了解を頂き、遠山研究室に所属する学生 3 人が今までゼミで学んできたことの総まとめという形での発表となりました。

千葉支部では、今後このような形で地元の学校、企業との繋がりを強め、より地域に根差した 活動を考えております。

今回発表された千葉工業大学社会システム科学部の概要を先ず、ご紹介しておきます。

社会システム科学部は理工系の分析力と膨大な情報を解析・統合するITのスキルを駆使しながら、強力なリーダーシップを発揮し、システムづくりを効率よく進めるための知識・技術を学ぶことを目的としております。この社会システム科学部は経営情報科学科、プロジェクトマネジメント学科、金融・経営リスク科学科の3つの学科から構成されております。遠山教授の研究室を訪問した折、理工系の大学にこのような学部があったことに驚かされました。

鈴木、平口、田村3名の学生たちがこれまでにゼミで学んできた概要は、かなり幅広く展開されてきており、私たちにとっても非常になじみの深い分野でありました。彼らの発表内容を一部一部ご紹介いたします。

- JABEE とは、国際的に通用する技術を習得するのを目的とした教育プログラム。
- ・経営とは、事業目的を達成するために継続的・計画的に意思決定を行って実行に移し、事業を 管理・遂行するための組織体。
- ・経営の課題3要素:社会への貢献、利潤の増大、従業員の生きがい
- 企業理念:企業や組織の目的や存在意義について短くまとめたもの。
- ・品質管理:製品を製造するに品質管理に欠かせない項目⇒5 M(人・方法・機械・材料・計測) 5 M+様々な管理手法 = 合理的な品質管理

・管理手法: QC7つの道具

・戦 略 : 差別化戦略、ニッチ戦略、プッシュ戦略、経営戦略、ブランド戦略、プル戦略

- ・プロダクトライフサイクル
- · SWOT分析
- ・PIMBOKにおける9つの知識エリア:統合、スコープ、タイム、コスト、品質、人的資源、コミュニケーション、リスク、調達

社会人を対象としての発表は学生諸君にとって初めての経験であったようで、かなり緊張した 面持ちが逆に新鮮さを印象付けました。彼らにとって、貴重な経験を積むことで自信につながっ たことでしょう。又、私たち会員も原点に戻った勉強であったかと思います。

なお、今回は千葉県経営品質協議会事務局長の鹿山幹治様にもご出席いただき、学生の発表の 後に品質協議会の概要をご説明頂きました。今後、千葉支部も品質協議会とのご縁を発展できれ ばと期待しております。





## 2014年2月 月例研修会

報告者:日本経営士会千葉支部 副支部長 山田 一

開催日時:平成26年2月22日(土) 15:00~16:30

開催場所:船橋市中央公民館

テーマ:『補助金に関する勉強会』

講 師:山下 恭司 会員

参加者:西村 豊、鈴木 伸一、大塚 亜喜雄、金子 昌夫、大久保 篤、林 久雄

中嶋 清介、中野 周行、山田 一(10名 講師含む)

日本経営士会が認定機関となり、全国で経営革新支援活動が展開されています。2 月の月例研修は、山下会員を講師として、補助金についての勉強会を開催しました。

ここでは、平成 24 年度補正予算 創業補助金 [第3回募集要項]を資料に、どのような手続きで申請が行われていくかを勉強しました。

#### 1. 事業の目的

地域の需要や雇用を支える事業を興す起業・操業を支援する。 既に事業を営んでいる中・小規模事業者であって、後継者が事業承継に当たり 事業転換、新事業分野に進出する第二創業の支援。

海外市場獲得を目指した事業を興す起業・創業の支援

#### 2. 補助対象者

新たに創業する者 (「地域需要型起業・創業」「海外需要獲得型起業・創業」) 中小企業・小規模事業者 (「第二創業」)

#### 3. 事業のスキーム

認定機関と創業予定者・中小企業・小規模事業者と千葉県産業振興センターの関係図の 確認

### 4. 選考

資格案件等及び事業内容の審査

#### 5. 採択

審査結果は中小企業庁や各事務局ホームページで採択者の公表、応募者全員に対して 事務局から文書による採否結果の通知が行われる。

#### 6. 補助金の交付

補助事業の完了後、30 日以内に完了報告書を提出。実施した事業内容の検査と経費内容 の確認により、事務局で補助金の額が確定され精算払いとなる。

千葉支部としては、実績がまだ少なく、本日の勉強会で、出席された方が、これからの経営革 新事業に活かされることを願っています。





# 平成 24 年度、25 年度の振り返り

平成24年期初、千葉支部では西村支部長の以下の方針で全てが動き出しました。

#### キーワードは「共創 (Associate)」です

新しい期がスタートし、5月12日(土)に定例の支部報告会を終え、支部の体制も新たになり 幹事、監事、運営委員の皆様も心機一転、張り切っています。今期、活動として目指すことは 支部の事業活動全てにおいて「質の向上」をはかり、社会貢献活動を通じ、地域の企業団体に「日 本経営士会千葉支部の経営士」を認知して頂くことです。その為には組織として結集した「新た な価値を創造」していくことが重要です。



それから2年の月日が流れようとしています。千葉支部では様々な取り組みを実施して参りました。ここでは、2年間に起こった主なトピックスを振り返りたいと思います。

## ■平成24年10月 『能楽とオペラの協演 in 夷隅』共同開催

平成 24 年 10 月 6 日(土) 午後 1 時 30 分開演

場 所 いすみ市大原文化センター

千葉支部では、地域貢献・町おこし活動にも力を注ぎました。その一環として、夷隅人車軌道開業百周年「能楽とオペラの協演 in 夷隅」と題した催しを、いすみ鉄道主催のもと、いすみ市、および、いすみ市教育委員会の協力を得、開催いたしました。



## ■平成24年12月 経営支援アドバイザー機構に認定を受ける

認定期日: 平成 24 年 12 月 21 日

認定番号:241221-260

中小企業の経営力強化のための支援活動を開始。経営革新申請書の作成支援と申請書の承認以 降のフォローアップや経営改善計画の作成と以降の支援を行っていきます。

## ■平成25年4月1日 日本経営士会は一般社団法人となりました

一般社団法人への移行にともない、公益社団法人時代の資産を7~8年で償却し、実質的な 利益団体としての活動がはじまる。

## ■平成 25 年8月~ 高品ハウジング様向け社員研修開催

千葉県経営者協会の賀詞交歓会で西村支部長ら幹部が、県会議員でもある山中社長にご挨拶したことがご縁で、アパマンショップでおなじみの株式会社高品ハウジングの6回に渡る社員研修を実施することができました。また、高品ハウジング様の社員研修を通して千葉支部としてのノウハウの蓄積が出来ました。このノウハウをベースに横展開を図り、県内の企業へのアプローチを図っていきます。



## ■平成 25 年9月 経営士補養成講座の開催

平成24年度の千葉支部の退会者数は10名近くにのぼり、本年度の千葉支部の会員数は 準会員1名を含め68名までに減少しました。高齢化、会員数の減少に歯止めがからない状況で す。このような状況を少しでも改善していくため、千葉支部では第1回目となる経営士補養成講 座を開催いたしました。各講座に使用した資料は担当した会員の手作り資料です。協議を重ね、 各人が時間をかけて作成しました。



## ■平成 25 年11月~26 年2月 消費税転嫁対策施策普及委員の活動

千葉支部では船橋商工会議所の依頼により、船橋地区の商工会議所の会員に対し、本年4月より施行される消費増税に関する訪問説明を実施しました。



メールアドレスを変更した際は、広報担当 鈴木 (shin\_suzuki@nifty.com) まで、新しいメールアドレス をお知らせください。メール未着の場合は、封書による再送ができない場合がございます。その際は支部 報を支部ホームページに掲載しておりますので、ダウンロードをお願いします。

#### 記事ご協力のお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL: 0 9 0 - 5 4 4 6 - 2 8 0 8 FAX: 0 4 - 7 1 3 3 - 1 3 0 3

MAIL: shin\_suzuki@nifty.com